

	号外	定価 1部2円	私たちが求める政治の実現に向け、7/20参院選岩手選挙区「横沢たかのり」、比例「岸まきこ」必勝を！	
	昭和34年4月1日	発行所 盛岡市内丸10番1号		No.2728
	第3種郵便物認可	岩手県庁内		2025年
		岩手県職員労働組合		7月17日

7.16人員確保要求書提出・人事課総括課長交渉

「分会基礎調査」もとに **128人** 増員要求 総合案内員継続署名 **217枚・1,708筆** 提出 人事課→「検討指示も方針定まっていない」

7月16日、県職労は5～6月に取り組んだ「分会基礎調査」の結果を反映した知事あて「人員確保に関する要求書」を畠山人事課総括課長に提出した。併せて、「総合案内窓口継続を求める要求書」と「総合案内窓口及び総合案内員配置継続を求める署名（217枚・1,708筆）」を提出したうえで、基本姿勢を質すべく、交渉を行った。



畠山人事課総括課長（左）に要求書・署名を提出



諸課題を訴える県職労4役

①人員確保に関し、「振興局や出先機関を直接訪問して職場の現状や課題を聞いている」「会計年度任用職員を含め、行政機関で一定の勤務経験を有する者を対象とした一般事務職の任期付職員の募集を開始した」「あらゆる手段を講じてマンパワー確保に取り組んでいく」とした。

交渉団から、育児休業代替職員による欠員解消を質したところ、「ワーク・ライフ・バランス定数は前年度と同水準を確保しているが、同職種の職員の配置が困難な部署もある」「予算額を前年度より多く確保している。会計年度任用職員による代替職員の配置要望は主管室課を通じて人事課に相談いただきたい」とした。



回答する畠山人事課総括課長

小田嶋委員長から「総合案内員について、業務を今後どうするか検討もせず行政サービスも蔑ろにしている。方向性が定まってからでは遅い。県職労と都度協議を！」「盛土法関係業務を始め仕事が増えれば人が必要になるのは現場としては当然の声。年度途中での増員も含め対応願いたい」と要請し、交渉を終了した。

今後、組織・定数検討が本格化することから、現場からの要求強化が重要。

支部・評協議会の独自要求をはじめとする取組の強化を要請する。(裏面へ続く)

② 60歳超職員の定着による人員確保

(県職労) 役職定年対象者は当初、原則5級相当の一担当者に位置づけることとされていたが、チーム総括を務めている例もある。働き方について、考え方を変更したのか。また、欠員回避のため、2026年3月末退職と採用の見通しを示されたい。

(人事課) 役職定年対象者は、培った人脈や専門的な知見を活かして高度な企画業務を担うことを想定。考え方に変更はない。また、国や他県と同様、退職補充を基本とする採用方針を見直し、継続的に一定数の職員採用を行うこととしている。

③ 本庁の特定部局における業務改善

(県職労) 本庁の特定部局で病気休暇が相次いでいる。幹部職員指示で緊急性の低い案件を長時間超勤させた例もある。業務縮減を強力に進めるべき。見解を示されたい。

(人事課) 超勤縮減を中心とした業務改善は、職員の健康管理の点からも重要。緊急性が低い案件で深夜までの超勤命令は適切でないため、引き続き情報提供願いたい。

④ 会計年度任用職員、特に「総合案内員」の継続配置

(県職労) 総合案内員が配置されなくなった場合の業務負担等、懸念や疑問が多数寄せられており、今回、要求書と署名を提出した。また、土木センターが総合案内を担っている合庁では、土木のマンパワーが大きく圧迫される。配置継続すべき。

(人事課) ふるさと振興部に検討を求めている段階。現時点において方向性は定まっていない。各広域振興局で当該職の必要性や、廃職の場合の代替策を幅広く検討中。

7.20 参院選 投票日 もう一押しの周知を!

7月20日の参議院議員選挙投票日まであと3日となった。

県職労は、私たちの声を国政に届けるため、そして働く者を軸として、生活者視点の政策と平和憲法を活かす政治の実現のため、下記の候補者の推薦を決定している。

推薦候補者の必勝に向け、さらなる支持の輪を広げよう。

県職労は参院選岩手県選挙区に「横沢たかのり」、比例代表に「岸まきこ」を推薦決定しています。

岩手県選挙区

横沢たかのり



比例代表 自治労組織内

岸まきこ



フルネームで!



※ これは労働組合の「政治活動」であり、法律上の禁止事項には該当しません。